

派遣者番号	管R3K06	氏名	廣濱 陽一郎
研究主題 —副主題—	「エージェンシー」を育む総合的な学習の時間における単元デザインの開発 —「地域の学習材」の単元分析を通して—		
派遣先	帝京大学 教職大学院	担当教官	荒巻 恵子
所属	江戸川区立清新ふたば小学校	所属長	清澤 好美

キーワード：エージェンシー 単元デザイン 教師のマインドセット

## 1 研究の背景（目的）・主題設定の理由等

近年、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造は大きく、また急速に変化している。新型コロナウイルス感染症への対応など、今まさに答えのない課題に対して、主体的に他者と協働しながら、課題に立ち向かう力を子供たちに育むことが求められている。

OECD Education2030 プロジェクトにおいて、ラーニングコンパスの中核的な概念として「エージェンシー」が示され、日本国内でも、このような国際的動向を踏まえ学習者主体の視点を重視して取組を進めていく必要性が述べられている。（教育再生実行会議、2021）

総合的な学習の時間は、カリキュラム・マネジメントの軸としても期待され、教科等横断的な学びを推進していく上でも重要な時間となっている。（文部科学省、2018）また、実社会の課題を解決する学習過程を通して、「エージェンシー」を育成・発揮できる可能性がある。「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説総合的な学習の時間編」では、地域の教材や学習環境を積極的に取り入れることを重視するよう述べられている。（文部科学省、2018）子供たちが、自分の住む地域の課題を自分の事として解決していくプロセスの中でこそ、資質・能力としての「エージェンシー」が育まれる。

本研究は、児童の「エージェンシー」を育成・発揮する単元デザインの在り方を明確にすることを目的として、総合的な学習の時間における地域を学習材とした単元デザインについて研究することとした。

## 2 研究の方法

基礎研究では、エージェンシーに関する文献調査、総合的な学習の時間の取組について質問紙調査を行った。事例研究では、ドキュメント分析から「エージェンシー」の構成要素の育成場面を明らかにし

た。インタビュー調査のSCAT分析では、単元デザインの視点や手順を明らかにした。事例研究で得られたリソースを基に、「エージェンシー」を育成・発揮できる単元をデザインするための単元デザインシートを開発した。

## 3 研究の結果・考察

### (1) 基礎研究

#### ア 文献調査

本研究では、OECD Education2030 が定義するエージェンシーの概念である「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」を採用した。その多様な資質・能力のうち、エージェンシーの代表的な構成要素が、「アイデンティティ」「帰属意識」「モチベーション」「希望」「自己効力感」「成長志向の考え方」であることから、本研究では、この六つの構成要素を観点として単元分析を進めることとした。

#### イ 質問紙調査

総合的な学習の時間に関する意識調査を行った。（都内公立小学校教員170名対象）

この結果から、「児童の意欲が高まる」「教科等横断的な学びを実現できる」など、肯定的な回答が見られた。一方で、「教師の力量や熱量による指導のばらつきがある」「単元開発等に時間や労力がかかってしまう」など、否定的な回答もあった。その要因として、「教科書がない」「総合的な学習の時間の知識がない」「単元イメージが分からない」という単元デザインの拠り所がないことの困り感が見られた。

多くの教員が総合的な学習の時間の取組を肯定的に感じながらも、単元づくりの拠り所がないことから、探究的な学習のプロセスを繰り返しながら資質・能力を育くむための単元、子供たちにとって価値のある単元を作ることが

できていない現状があると分かった。これらのことから、教員が単元デザインをするために必要な視点や手順を明確にする必要があると考えた。

## (2) 事例研究

総合的な学習の時間で地域の学習材を扱った4事例について、「エージェンシー」の代表的な六つの構成要素を観点としてドキュメント分析を行った。その結果、地域の方やゲストティーチャーと課題や思いを共有すること、地域の方々から活動に対する評価をする場面を設定するなどの学習活動が重要であると分かった。

また、実践者における単元デザインの視点や手順について、インタビュー調査をした。その結果、単元を構想する段階、単元計画を立てる段階、実施する段階に関する取組に加えて、学習者主体の総合的な学習の時間にするために教師がしなやかなマインドセットを有していることが、学習者主体の「エージェンシー」を育む学びにつながるということが明らかになった。(図1)

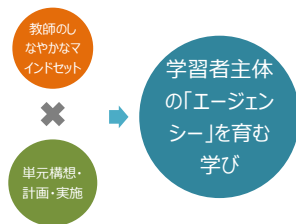


図1 教師のマインドセットの重要性

## (3) 開発研究

総合的な学習の時間における単元デザインの一助となるよう、本研究で提案する単元デザインシート(図2)は、直接入力しながら、必要な手順や視点、参考になる事例も参照できるようにした。その際、単元デザインシートに盛り込むリソースは、本研究で明らかになった「エージェンシー」を育む単元デザインの手順や視点に加え、「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編」や指導資料である「今、求めら

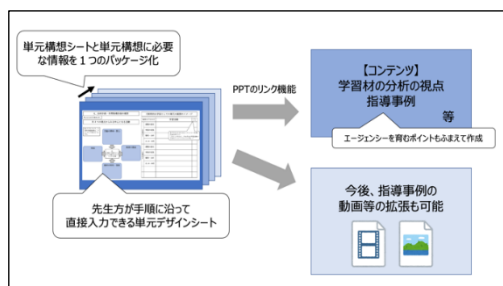


図2 単元デザインシートの概要

れる力を高める総合的な学習の時間の展開」等も含むこととした。

## 4 研究の成果

### (1) 「エージェンシー」の代表的な構成要素の抽出

「エージェンシー」は、今後教育の分野において重要なキーワードとなっていくことが予想される。本研究では、「アイデンティティ」「帰属意識」「モチベーション」「希望」「自己効力感」「成長志向の考え方」の代表的な六つの構成要素を総合的な学習の時間に見られる子供の姿で具体的に示し、分析したことで、「エージェンシー」を發揮・育成する探究のプロセスや学習活動との関連を見いだすことができた。

### (2) 教師のしなやかなマインドセットの重要性

総合的な学習の時間を専門的に取り組む教員へのインタビュー調査を通して、単元デザインに関する構造化されたインタビューの中で、教師のしなやかなマインドセットに関わる回答が複数見られた。このことは、単元デザインを行う上で手順や視点だけでなく、教師の姿勢が重要であることを示唆している。

### (3) 単元デザインシートの開発

総合的な学習の単元デザインを行うための視点や手順や指導のポイントを示した単元デザインシートを作成することができた。

## 5 今後の展望

### (1) 「エージェンシー」の構成要素の評価規準

「エージェンシー」という資質・能力を明らかにするためには、更なる文献調査と子供の姿に関する事例分析を行い、「エージェンシー」の具体的な構成要素を整理する必要がある。また、「エージェンシー」の六つの構成要素を観点としたドキュメント分析において、測定の妥当性に課題が残った。今後は、評価規準を作成した上で、地域を学習材とした実践において子供の姿を見取る必要がある。

### (2) 単元デザインシートの有用性の検証

作成した単元デザインシートについて普及・啓発を図るとともに、有用性を検証し、単元デザインシートの改善を図る。

また、指導事例や動画等の具体的なコンテンツを追加し、有用性を高める。